施策展開	5-(3)-ウ	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	施 策	② 特別支援教育の	充実	
心果皮用	3-(3)7	時代に対応する極力のる子供しての形態	施策の小項目名	_		
主な取組	特別支援教育推	進			実施計画記載頁	394
対心する	る取組を行う私	育ニーズに対応し、子どもたちの個性や創造性の伸長を 立学校への支援など様々なニーズを踏まえた取組を推進 でや小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒が	重する必要がある。			

# 1 取組の概要(Plan)

	取組内容		年度別計画					
			H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)	
私立幼稚園における  費)に対し助成を行う	る障害のある幼児の受け入れに要する約。	圣費(人件費、教育研究経	24人 助成園児数			<del></del>	32人	
実施主体	県	71 ± /1 7// 🖼		4.1.±6.1±1	<del></del>			
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部子育て支援課	│ 私立幼稚園の	ル障害児受人体 <sup>®</sup> I	制整備に要する約	全實に対し助成 <u></u> 「			

***								
進捗状況						(単位:千円	)	
予算事業名 私立幼稚園等特別支援教育補助金								
宇施方法	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
	· 決算額 	決算額	<b>決算額</b> ————	決算額 ————	決算見込額	当初予算額	主な財源	〇H30年度: 障害のある幼児を受け入れた私立幼稚園8園 (44人)に対し、受け入れに要した経費を助成した。
補助	6,860	8,036	17,640	22,286	33,320	30,184		OR元(H31)年度: 障害のある幼児の受け入れ体制を整えるためのに要する経費に対し助成を行うことにより、私立幼稚園における受け入れを促進する。
_		-						
宝饰专注	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度			平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
<b>天</b> 爬刀丛	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	OH30年度: —
	_	_	_	_	_	_		OR元(H31)年度: —
	実施方法	私立幼稚園等特別支援教 実施方法 H26年度 決算額 補助 6,860	私立幼稚園等特別支援教育補助金 実施方法 H26年度 H27年度 決算額 決算額 補助 6,860 8,036	私立幼稚園等特別支援教育補助金 実施方法 H26年度	私立幼稚園等特別支援教育補助金  実施方法	私立幼稚園等特別支援教育補助金  実施方法	私立幼稚園等特別支援教育補助金    実施方法	私立幼稚園等特別支援教育補助金     H26年度 決算額     H27年度 決算額     H28年度 決算額     H29年度 決算額     R元(H31)年度       補助     6,860     8,036     17,640     22,286     33,320     30,184     各省計上       一     実施方法     H26年度     H27年度     H28年度     H29年度     H30年度     R元(H31)年度

活動指標名	助成園児数					H30年度		H30年度	`# 11: 11: \p	活動概要	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	決算見込 額合計	進捗状況	私立幼稚園において障害のある幼児を受け入れた園に対し、受け入れ幼児数に応じて助成を	
実績値	20	24	24	33	44	26	100.0%			行い、特別支援教育を担当する教員の配置や、 教材の充実を促した。また、発達の気になる幼児 についての相談体制を整備するため、巡回アド バイザーを活用するよう周知を図った。	
活動指標名	_					H30年度				Party Carania Gorginal Empire	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
実績値	_	_	_	_	_	_		33,320	順調	計画値26人に対し、44人の受け入れに対し助成を行い、順調に取り組んでいる。私立幼稚園において障害のある幼児を受け入れた園に助成を行うことで、特別支援教育を担当する教員の配置	
活動指標名	_					H30年度				や教材の充実が促進された。また、当該事業を 活用してもらうために、発達の気になる幼児につ	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			いての相談先として巡回アドバイザーを活用する よう周知することで、私立幼稚園における専門的	
実績値	_	_	_	_	_	_				なサポートが図られた。	
(2)これまで	の改善案の	反映状況									
		平成30	年度の取組	改善案						反映状況	
い園に対し流 ②教育委員 る。	舌用を促す。 会等が実施しアリングの際	用している園 している研修? に、市町村と	等の情報提供	<b>共を行い、積</b>	極的な参加を	呼びかけ	ついての周分としている園 としている園 ②幼稚園の 参加を呼びた	知を年度当初  もあった。 教諭に対し、 かけたが、情	ルか行わな 教育庁が開 報提供が遅	こついての助言を行う巡回アドバイザーの活用にかった。活用している園はあったが、周知文を見落 催する特別支援教育の研修等の情報提供を行いれ、予定の調整が間に合わなかった園があった。 機関等の連携状況を確認し、連携を促した。	

#### 3 取組の検証(Check)

### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### 〇内部要因

・教育委員会からの巡回アドバイザーや研修の周知が1度切りであったり、情報提供が 遅れたことがあった。

#### 〇外部環境の変化

- ・発達障害の疑いがある幼児の保護者が、診断してもらうことを拒むことが多々あり、保護者の理解が得られないため、補助の要件である障害を有することの根拠資料(診断書や意見書)の提出ができず、園に補助できない事例がある。
- ・事業の理解が曖昧で、実際には補助対象となるにも関わらず、申請を行わなかった園があった。
- ・園に訪問し、発達の気になる幼児についての助言を行うための巡回アドバイザーの活 用が行われていない園があった。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・研修の情報提供の迅速化や、巡回アドバイザーの活用を定期的に促す必要がある。
- ▶・巡回アドバイザー等の活用により、保護者に対し、園や教諭の主観的な意見だけでなく、専門的な知見からの所見等を伝える必要がある。
- ⊪・補助対象経費や要件について、説明会を行う等、改めて園に対して周知する必要がある。

- ・研修や巡回アドバイザー等の情報提供を速やかに行う。
- ・巡回アドバイザーを活用している園の取組事例等を各園に紹介し、まだ活用していない園に対し活用を促す。
- **∥・**障害のある幼児やその保護者を総合的に支援するため、幼稚園だけで対応を行うのではなく、市町村や対象機関との連携を引き続き促す。
- ・補助事業についての説明会を行う。

施策展開	5-(3)-ウ	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	施 策	⑤ 魅力ある私立学	交づくりへの支援					
加尔茂州	9-(3)7	時代に対応する魅力のる手供りで発達	施策の小項目名	○特色ある教育への支援						
主な取組	私立学校教育改	私立学校教育改革推進 実施計画記載頁 394								
		で育ニーズに対応し、子どもたちの個性や創造性の伸長で 立学校への支援など様々なニーズを踏まえた取組を推進		、一貫した教育指導体	「制の構築、様々な専ト」	門教育の充実、特色あ				

# 1 取組の概要(Plan)

	取組内容		年度別計画					
I WII 184-5-11		1// 1// 1/ 1// 1// 1// 1// 1// 1// 1//	H29	H29 H30 R元(H31) R2(H32				
■ 私立学校が行う特色 に要する経費に対す	色ある教育(次世代を担う人材育成の る助成を行う。	推進、体験活動の推進など)	48校					
	0911%C11 70		助成校数					
実施主体	県	打去学技术	- 二性 4 七 7 松 夲					
担当部課【連絡先】	総務部総務私学課、子ども生活福祉部子育て支援課	[098-866-2074][098-866-2457]	ムエ子校かり	rう特色ある教育	I〜刈し助队 			

(1)取組の進捗状況         予算事業名       私立学校等教育振興費         主な財源       実施方法       H26年度 決算額       H27年度 決算額       H29年度 決算額       H30年度 決算額       R元(H31)年度 決算見込額       平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年展 (平成30年度: 私立学校(47校)が行う特色ある。担う人材育成の推進、体験活動の推進など)に	
主な財源 実施方法 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 決算額	
主な財源   実施方法   決算額   決算額   決算額   決算額   決算額   決算額   決算額	
-	
対する助成を行った。	
各省計上   補助 40,872 42,236 42,775 44,126 58,033 67,493 各省計上   OR元(H31)年度: 私立学校(48校)が行う特色 世代を担う人材育成の推進、体験活動の推進が	
経費に対する助成を行う。	
予算事業名	
主な財源 実施方法 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 R元(H31)年度 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年)	夏)の活動計画
<sup>土は州   大   大   大   大   大   大   大   大   大   </sup>	
OR元(H31)年度:	

活動指標名	助成校数					H30年度		H30年度 決算見込	進捗状況	活動概要	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	額合計	连抄认况	私立学校(47校)が行う特色ある教育(次世代を 担う人材育成の推進、体験活動の推進など)に	
実績値	47校	46校	46校	47校	47校	48校	98.0%			要する経費に対する助成を行った。 特に英語教育強化や国際交流の推進といった 次世代を担う人材育成に取り組む学校が増え た。	
活動指標名						H30年度					
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
実績値								58,033	順調	計画値(48校)に対し、私立学校(47校)が行う 特色ある教育(次世代を担う人材育成の推進、体 験活動の推進など)に要する経費に対して助成 することにより、教育の質の向上を図ることがで	
活動指標名						H30年度				きた。	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B				
実績値											
(2)これまで	の改善案の	<b>支映状況</b>									
		平成30	年度の取組	改善案 —————						反映状況	
となる事例を ②事業計画	示すなど事業	業の取組を促 v離している学	進する。 全校が多いこ		引知を図るとと 計画書を提出		いて増額となった。				

#### 3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

〇内部要因

〇外部環境の変化

・国の概算要求時に示された国庫補助単価(全国一律)について、要求通り措置されず、 減額となった事業がある。

・各学校が類似した事業を実施ししたり、毎年同じ取り組みを繰り返す傾向がある。

いじめや不登校、児童虐待など学校が抱える課題は複雑化している。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・国の補助単価に変動があった場合は、適切に情報提供を行う必要がある。
- ・参考となる事例を示す等、特色ある取り組みを行う学校を支援する。
- ▶・児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう教育相談体制の整備等(スクールカウンセラーの配置等)に取り組む学校を支援する。

### 4 取組の改善案(Action)

・各学校へのヒアリングなどを通して、他校の取組について情報提供すること等により、引き続き特色ある教育に取り組む学校を支援していく。

施策展開	5-(3)-ウ	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	施 策	⑤ 魅力ある私立学	校づくりへの支援					
心來政策	3-(3)7	時代に対応する歴別のる手校プペッの推進	施策の小項目名	○私立学校の経常経費に対する支援						
主な取組	私立学校運営費等支援 実施計画記載頁 389									
	①多様化する教育ニーズに対応し、子どもたちの個性や創造性の伸長を図っていくためには、一貫した教育指導体制の構築、様々な専門教育の充実、特色ある取組を行う私立学校への支援など様々なニーズを踏まえた取組を推進する必要がある。									

# 1 取組の概要(Plan)

	取組内容		年度別計画						
	W = 11 = - 1 = 11 A		H29	H29 H30 R元(H31) R2(H32)					
∥私立学校の経常費、 ■成を行う。	教職員の退職金共済掛金、長期給付	f掛金に要する経費に対し助 	48校						
,			助成校数						
実施主体	県		71		1 -12				
担当部課【連絡先】	総務部総務私学課、子ども生活福祉部子育て支援課	私立字校の約	圣常費等に対し即 「	可成 					

(1)取組の道	捗状況						(単位:千円	)	
予算事業名	予算事業名 私立学校運営費補助金等								
主な財源	実施方法	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		31)年度	平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
土は別源	<b>夫</b> 肔刀法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	〇H30年度: 私立学校(45校)の経常費、教職員の退職金共済掛金、長期給付掛金に要する費用に対し助成を行った。
									海角金、皮粉和竹角金に安する負用に対し助成を11つに。
各省計上	補助	2,775,084	2,790,890	2,877,431	2,813,038	2,699,196	2,734,870	各省計上	〇R元(H31)年度: 私立学校(45校)の経常費、教職員の退職金共済掛金、長期給付掛金に要する費用に対し助成を行
									「現金大海街・金、大湖和竹街・金」(全)の資用に対し助成で11   う。
予算事業名									
主な財源	実施方法	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度		31)年度	平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画
土は別源	<b>夫</b> 肔刀法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	〇H30年度:
									OR元(H31)年度:
i e									

活動指標名	助成校数					H30年度		H30年度	ᄽᆎᆘᅶᄁ	活動概要		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	決算見込 額合計	進捗状況	私立学校(45校)の経常費、教職員の退職金共 済掛会、長期給付掛金に要する費用に対し助成		
実績値	49校	49校	46校	45校	45校	48校	93.8%			を行った。 私立幼稚園5園が子ども・子育て支援新制度に 移行したこと等により、実績が減となっている。		
活動指標名						H30年度						
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
実績値								2,699,196	順調	計画値48校に対して、私立学校(45校)の経常 費、教職員の退職金共済掛金、長期給付掛金を 要する費用に対し助成を行い、順調に取組を推 進した。		
活動指標名						H30年度				私立学校の経常費等に対して助成をすることにより、経営の安定化・健全化を図り、生徒数の増		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			加、定員充足率の向上につなげることができた。		
実績値												
(2)これまで	の改善案の	 反映状況										
		平成30	年度の取組	改善案						反映状況		
私立学校の	経営の安定化 の運営に係る		図る。				り、①国が示した単価及び健康診断費用に係る上乗せ分について、所要額の確保にめ、私立学校の経営の安定化・健全化を図った。 立 ②学校法人の運営に係るヒアリング等を通して、経営の安定化・健全化に取り組む立学校を支援した。					

#### 3 取組の検証(Check)

### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### 〇内部要因

- ・平成25年度に、私学団体からの経常費助成における国の生徒1人当たり単価の確保 及び健康診断費の助成について陳情があり、学校の現状を踏まえ、その確保に努めて いる。
- ・平成29年度より、幼稚園教諭の処遇改善事業が追加された。

#### 〇外部環境の変化

- ・児童生徒の定員割れ等により、県内私立学校の経営は厳しい状況にある。
- ・私立幼稚園においては、幼稚園教諭不足が定員割れの主な要因の1つとなっている。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・引き続き、国が示した単価及び健康診断費用に係る上乗せ分について、所要額の確保に努め、私立学校の経営の安定化・健全化を図る必要がある。
- ・平成29年度より、幼稚園教諭の処遇改善事業が追加されたため、事業の実施を推進する必要がある。
- ・学校法人に寄附をした場合の税制優遇措置等、私立学校の経営の安定化に資する情報(国の通知等)について、きめ細かく周知を図る。

- ・引き続き、国が示した単価及び健康診断費用に係る上乗せ分について、所要額の確保に努め、私立学校の経営の安定化・健全化を図る。
- ・私立幼稚園において、平成29年度から幼稚園教諭の処遇改善事業が追加されたため、事業の取組を促していく。
- ・補助金ヒアリング等において、私立学校の経営の安定化に資する情報について周知を図る。

施策展開	5-(3)-ウ	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	施 策	⑤ 魅力ある私立学	<sup>校づくりへ</sup> の支援						
加尔茂州	5-(3)7	時代に対応する魅力のる手校との発達	施策の小項目名	〇幼児教育の充実							
主な取組	子育て支援推進	子育て支援推進 実施計画記載頁 394									
対応する 主な課題		で育ニーズに対応し、子どもたちの個性や創造性の伸長で 立学校への支援など様々なニーズを踏まえた取組を推済		、一貫した教育指導体	は制の構築、様々な専門	門教育の充実、特色あ					

# 1 取組の概要(Plan)

	取組内容		年度別計画						
			H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)		
■ 私立幼稚園が行う教 保育 保護者向けの	教育課程に係る教育時間終了後の預かり 講演会等の子育て支援推進事業に要する	29園							
	研决公司的 [	助成園数							
実施主体	県								
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部子育て支援課 【098-866-2457】		私立学校が行う特色ある教育に対し助成						

(1)収組の進捗状況							(単位:十円)				
予算事業名 魅力ある私立学校づくり推進事業補助金											
<b>実施方法</b>	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元(H		平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画			
人心的	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	〇H30年度: 私立幼稚園等24園に対して、平日や休業日の 預かり保育、親子登園や保護者向けの講演会等の子育て支			
								援推進事業を支援した。			
補助	67,636	68,878	70,176	39,081	44,740	54,272	各省計上	〇R元(H31)年度: 私立幼稚園等24園に対して、平日や休業日の預かり保育、親子登園や保護者向けの講演会等の子育			
								て支援推進事業を支援する。			
_											
宝饰七法	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元(H	31)年度	平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画			
关心力法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	OH30年度:			
	_	_	_		_	_		OR元(H31)年度:			
		魅力ある私立学校づくり打 実施方法 H26年度 決算額 補助 67,636	魅力ある私立学校づくり推進事業補助 実施方法 H26年度 決算額 H27年度 決算額 補助 67,636 68,878	魅力ある私立学校づくり推進事業補助金 実施方法 H26年度	魅力ある私立学校づくり推進事業補助金 実施方法 H26年度	魅力ある私立学校づくり推進事業補助金 実施方法 H26年度	魅力ある私立学校づくり推進事業補助金 実施方法 H26年度	魅力ある私立学校づくり推進事業補助金    実施方法			

										1		
活動指標名助成園数						H30年度	H30年度 決算見込		進捗状況	活動概要		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	然异兄还 額合計	進抄扒沉	計画値29園に対し、24園の私立幼稚園等に平日や休業日の預かり保育や保護者向けの講演		
実績値	33	29	32	25	24	29	82.8%			会等の子育て支援推進事業を支援した。また、子 ども・子育て支援新制度に移行した園について も、年度途中に市町村の事業要件に該当せず受 託できなかった園を確認し、当該事業の活用を		
活動指標名						H30年度				図った。		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果		
実績値	_	_	_					44,740	概ね順調	計画値29園に対し、24園の私立幼稚園等に補助ができ、概ね順調に取り組んでいる。この取り組みにいる。この取り組みによって園の運営費の負担軽減が図られる		
活動指標名	_					H30年度				ともに、平日のみならず、休業日の預かり保育等 が行われ、子育て支援の推進を促すことができ た。		
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B					
実績値	_	_		_	_	_						
(2)これまで	の改善案の別	支映状況										
		平成30	年度の取組	改善案			反映状況					
①補助金ヒブ実に繋げるが				を記を行い、·	子育て支援の	も・子育て支		おける一時剤	舌用を促した。また、市町村が実施主体である子ど 頁かり事業を利用できなかった園についても状況を			

### 3 取組の検証(Check)

### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### 〇内部要因

#### 〇外部環境の変化

・子ども子育て支援新制度の施行に伴い、新制度移行園は原則市町村が実施主体である一時預かり事業を活用することとなっている。しかし、一時預かり事業を受託するための要件である保育教諭数が確保できずに活用できない場合がある。

- ・休業日預かり保育の実施については、保護者のニーズにより、実施の要否について 各幼稚園毎に違いがある。
- ・保護者からの収入が経費を上回り補助対象外となっている園が3園あった。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・年度当初に、補助金説明会を開くなどして、補助要件について改めて周知する必要がある。
- ・収入が経費を上回り補助対象外となっている園に対し、当該事業を活用し、保護者の負担軽減や人員配置等を充実し、預かり保育における保育環境等の向上を促す必要がある。
- |・年度の途中で、市町村の一時預かり事業を受託できない園があれば、当該事業を活用できないか確認を行う必要がある。

- ・年度当初に説明会を実施し、補助要件について周知を行う。
- ・補助金ヒアリングにおいて各園の現状を把握し、保育料の見直しや保育士等の人員配置を促すことにより、子育て支援の更なる充実に繋げる。
- ・市町村の一時預かり事業を受託できない場合は、当該事業が活用できないか確認し、補助金活用を促す。

施策展開	5-(3)-ウ	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進	施 策	⑤ 魅力ある私立学	校づくりへの支援				
心果成用	5-(3)7	時代に対応する極力のも子女との推進	施策の小項目名	○幼児教育の充実					
主な取組	特別支援教育推進 実施計画記載頁 39								
対応する 主な課題	る取組を行う私 ②特別支援学校	育ニーズに対応し、子どもたちの個性や創造性の伸長を立学校への支援など様々なニーズを踏まえた取組を推進で小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒だするため、多様なニーズに対応したきめ細かな特別支援	生する必要がある。 が増加傾向にあること	とから、障害のある幼児					

# 1 取組の概要(Plan)

	取組内容		年度別計画						
			H29	H30	R元(H31)	R2(H32)	R3(H33)		
私立幼稚園におけ  費)に対し助成を行	る障害のある幼児の受け入れに要する約5。	24人 助成園児数			<del></del>	32人			
実施主体	県		71 ± /1 7// 🖼 2		<u></u>	7 # 1 _ L I   B   _ L			
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部子育て支援課	【098-866-2457】	私立幼稚園の障害児受入体制整備に要する経費に対し助成 						

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)			
予算事業名 私立幼稚園等特別支援教育補助金										
主な財源	実施方法	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元(H	31)年度	平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画	
土は別原	<b>美旭刀</b> 広	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	〇H30年度: 障害のある幼児を受け入れた私立幼稚園8園 (44人)に対し、受け入れに要した経費を助成した。	
各省計上	補助	6,860	8,036	17,640	22,286	33,320	30,184	各省計上	〇R元(H31)年度: 障害のある幼児の受け入れ体制を整える ためのに要する経費に対し助成を行うことにより、私立幼稚園 における受け入れを促進する。	
予算事業名										
主な財源	実施方法	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元(H	31)年度	平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画	
土は別場	<b>美</b> 胞刀法	決算額	決算額	決算額	決算額	決算見込額	当初予算額	主な財源	〇H30年度: —	
		_	_	_	_	_	_		OR元(H31)年度: —	

活動指標名助成園児数						H30年度		H30年度	<b>、*# +1+ ・1 ト ・</b> ロ	活動概要	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B	決算見込 額合計	進捗状況	私立幼稚園において障害のある幼児を受け入 れた園に対し、受け入れ幼児数に応じて助成を	
実績値	20	24	24	33	44	26	100.0%			行い、特別支援教育を担当する教員の配置や、 教材の充実を促した。また、発達の気になる幼児 についての相談体制を整備するため、巡回アド バイザーを活用するよう周知を図った。	
活動指標名	_					H30年度				Party Carania Gorginal Empire	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
実績値	_	_		_	_	_		33,320	順調	計画値26人に対し、44人の受け入れに対し助成を行い、順調に取り組んでいる。私立幼稚園において障害のある幼児を受け入れた園に助成を行うことで、特別支援教育を担当する教員の配置	
活動指標名	_					H30年度				や教材の充実が促進された。また、当該事業を活用してもらうために、発達の気になる幼児につ	
	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			いての相談先として巡回アドバイザーを活用するよう周知することで、私立幼稚園における専門的なサポートが図られた。	
実績値	_	_	_	_	_	_					
(2)これまで	の改善案の	反映状況									
		平成30	)年度の取組	改善案						反映状況	
い園に対しデ ②教育委員 る。	舌用を促す。 会等が実施し アリングの際	用している園 している研修? に、市町村と	等の情報提供	<b>共を行い、積</b>	極的な参加を	ついての周 としている園 ②幼稚園の 参加を呼び	知を年度当初 lもあった。 教諭に対し、 かけたが、情	ルか行わな 教育庁が開 報提供が遅	こついての助言を行う巡回アドバイザーの活用にかった。活用している園はあったが、周知文を見落催する特別支援教育の研修等の情報提供を行いれ、予定の調整が間に合わなかった園があった。 機関等の連携状況を確認し、連携を促した。		

#### 3 取組の検証(Check)

### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

#### 〇内部要因

・教育委員会からの巡回アドバイザーや研修の周知が1度切りであったり、情報提供が 遅れたことがあった。

#### 〇外部環境の変化

- ・発達障害の疑いがある幼児の保護者が、診断してもらうことを拒むことが多々あり、保護者の理解が得られないため、補助の要件である障害を有することの根拠資料(診断書や意見書)の提出ができず、園に補助できない事例がある。
- ・事業の理解が曖昧で、実際には補助対象となるにも関わらず、申請を行わなかった園があった。
- ・園に訪問し、発達の気になる幼児についての助言を行うための巡回アドバイザーの活用が行われていない園があった。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・研修の情報提供の迅速化や、巡回アドバイザーの活用を定期的に促す必要がある。
- ・巡回アドバイザー等の活用により、保護者に対し、園や教諭の主観的な意見だけでなく、専門的な知見からの所見等を伝える必要がある。
- ■・補助対象経費や要件について、説明会を行う等、改めて園に対して周知する必要がある。

- 研修や巡回アドバイザー等の情報提供を速やかに行う。
- ・巡回アドバイザーを活用している園の取組事例等を各園に紹介し、まだ活用していない園に対し活用を促す。
- ┣・障害のある幼児やその保護者を総合的に支援するため、幼稚園だけで対応を行うのではなく、市町村や対象機関との連携を引き続き促す。
- ・補助事業についての説明会を行う。